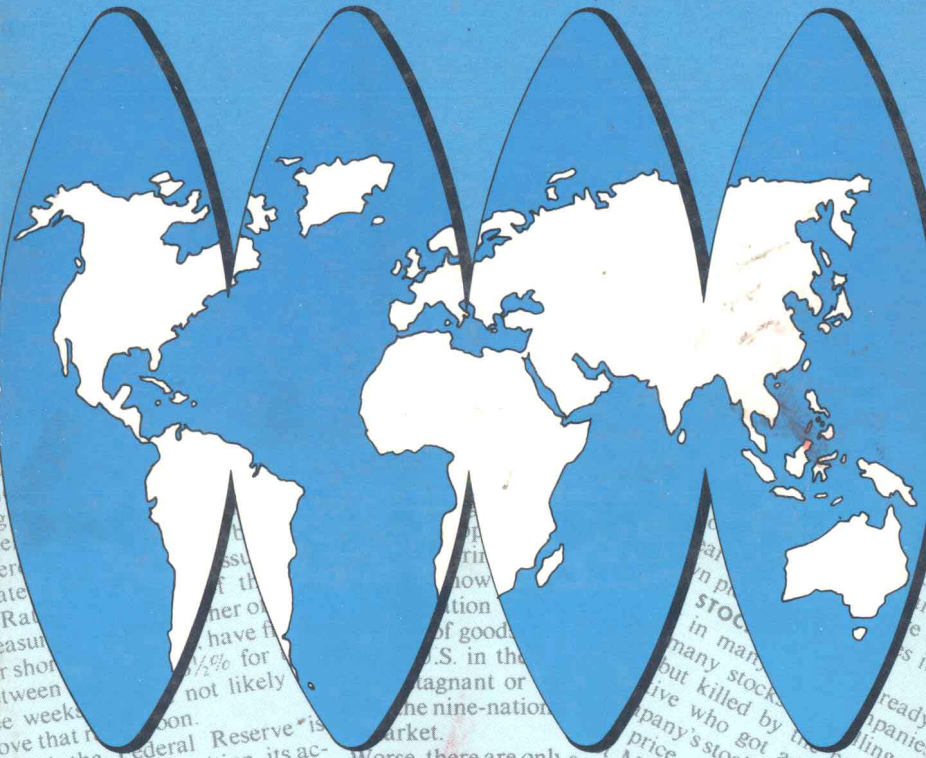
金市場と国際金融

——いま世界ではじまった国際金融界の大変動——

渡部一郎



竹井出版

著者略歴

- 昭和6年（1931）大連に生まれる.
- 東京大学工学部卒業.
- 衆議院議員当選6回.
- 衆議院議員・大蔵委員・衆議院科学技術特別委員長を6期務める.
- 公明党副書記長・外交委員長・大蔵部会長

金市場と国際金融

—いま世界ではじまった国際金融界の大変動—

昭和五十六年十二月二〇日第一刷発行

定価九八〇円

著者　渡部一郎

発行者　竹井博康

発行所　竹井出版株式会社

150 東京都渋谷区神宮前六の十二の十八

TEL（〇三）四〇九—五六三二

印刷・製本　廣済堂印刷

© 1981 Ichiro Watanabe

ISBN4 88474 090 4 C0033 ¥980E

まえがき

今日の国際経済の動向を見渡してみると、そこには、国どうしがそれぞれの経済力をもってしのぎを削っている有様がはっきりと読みとれる。そして、経済力に優れている国はそれだけ国際社会の中で地位も高く、通貨も信頼度が高い。しかし、経済力の劣っている国は、国際社会の中では発言力も弱く、不安定な通貨への信頼度は低い。したがって、世界各国が、どこの国の通貨をよく使用し、買っているかで、国の力が判るというものである。よく買われる通貨を発行している国は、国際的な信用があり、経済力がある。

私は、大連で生まれて、そこで少年時代を過ごした。その大連時代、確か十歳の頃だったと思う。私の母がこんなことを語ってくれた。

「戦争に勝つ国を知ろうと思えば、今、華僑がどこの国の通貨を集めているかを知れば判ります。そして、いちばん華僑に集められている通貨を発行している国が、勝つ」

ちょうど、第二次世界大戦が始まる直前のことであった。世界に展開し、広く商業活動をしている華僑にとって、財産の安定を図るには信頼できる通貨を持っていなければならない。もし、敗戦国の通貨でも持っていようものなら、自らの財産は水泡に帰してしまう。だから、彼等にとっては戦争の帰趨には大きな関心を寄せざるを得なかった。そして、世界規模で展開している

華僑は、その確かな情報収集力によって、戦勝国を予測し、その国の通貨を獲得しておく必要があったのである。

思えば、私の母の語ったことは単純明快な論理であったし、私はこの時はじめて、通貨が国力を示すバロメーターになることを教えられたと言えよう。

それから約半世紀が経過し、時代状況は大きく変化した。しかし、その国の通貨が国力のバロメーターになっていることは、依然として変わりはないようである。それは、為替相場によってもっとはっきりと知ることができるようになった。今日、その為替相場（自国通貨と外国通貨との交換比率）は、変動相場制となり、日々刻々と変化をし、各国との経済バランスも微妙に把握されるようになった。

今やこの為替相場が、いかに我が国の経済活動に密接な関わりを持っているかは、すでに知られているとおりである。日本は貿易立国でもあり、資源を輸入してそれを国内で加工した上で、商品として輸出をしている。それだけに、円（自国通貨）と外国通貨との交換比率、つまり為替相場は直接に国の経済力に影響をしてくる。

私は、最近海外の金融事情を視察して来た。それは大蔵委員会の委員という立場よりも、一国会議員として国民の財産を守るためにはどうしたら良いか、という考えのもとに行って来たのである。すべてのことに関して経済万能という訳ではないが、人が幸福な生活を営む基礎には、経済的安定がなければならない。

そこで私は、「家庭と国と世界の経済における関わり合い」を軸として、お金やそれに代わるものについて考え、さらに激動する現代金融体制が、国民の利益にかなうためにはどのような道を歩めば良いかについて、各位に参考のため供したいという願いのもとに、本書の刊行を試みた次第である。

昭和五十六年十二月

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

金市場と国際金融　目次

まえがき

第一章　金……11
1　ゴールドラッシュの理由　13
2　金の不正取引　17
3　金需要の未来　50
4　世界の金市場　53

第二章　国際金融の新しい展開……57
1　ニューヨーク自由金融市場スタート　59
2　ニューヨークIBFの影響　65
3　東京オフショア・センター構想　69
4　円の国際化　76
5　外為法改正と金融自由化　85
6　オイルマネー　90

第三章　変動相場制……99
1　金とドル　101

2 ドルの失墜 108
3 ニクソン・ショック 114
4 通貨戦争の始まり 119
5 金本位制 127
6 金の失権 133

第四章 ニューヨーク市場 …… 139
1 アメリカの銀行の特色 141
2 アメリカの金融改革法 147
3 アメリカの経済事情 152
4 金融の嵐 162

第五章 金融の国際化 …… 169
1 国際金融 171
2 ロンドンの金融事情と市場 175
3 ユーロ市場と国際化 183
4 イギリスの経済政策 187

5 シンガポール市場 189
6 パリ市場 195
7 スイス市場 199
8 フランクフルト市場 204
9 国際金融グループ 208

第六章 国際通貨制度の未来 …… 211
1 通貨制度改革と金 213
2 SDRとEMS 223

あとがき …… 230

金市場と国際金融

——いま世界ではじまった国際金融界の大変動——

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

第一章　金

日本銀行（共同提供）

1　ゴールドラッシュの理由

最近、ブラジル・アマゾンの奥地で金鉱が発見され、ゴールドラッシュでわきかえっている。採鉱地には、都市から多くの男たちが押し寄せ、まるで蟻のように土を掘り返しているという。そして、中には幸運にも大金塊を発見した億万長者も出現した。

ところが、近年、我が国でもゴールドラッシュが起こっている。昭和四十八年に、金の輸入が自由化され、さらに昭和五十三年、輸出が自由化されたことがそのきっかけである。そして、現在では誰でもが自由に金を保有することができるようになった。その結果として、インフレ、物価上昇という要因のために、金を資産保全の手段として、多くの人が買い入れるようになったのが、我が国のゴールドラッシュである。

金と言えば、かつては投機筋が買いこむものと思われていたものだが、今日ではごく普通のサラリーマン、OL、主婦が、実に気軽に買い始めている。金地金の販売会社の店頭でインゴット、コインバーなどを買うばかりではない。デパートでも、金のネックレス、ブレスレットなどをはじめ、紳士用品売場ではネクタイピン、金のライターなどを買い込む人が増えた。そうした傾向

を反映して、我が国の金輸入量は、昭和五十六年一月から七月までの前年比は、五倍にも達している。

従来、我が国の個人貯蓄は、銀行や郵便局への預貯金が約七割を占め、その他が証券、保険、信託などによるものであった。言うなれば、金は資金保全の手段として考えられてはいなかったのである。さらに、財産と言えば土地、建物などといったイメージが深く根づいていた。ところが、近年になってゴールドラッシュが始まった。

この理由のひとつとして、昭和五十九年から実施されるグリーンカード制の実施が関係しているという説がある。これまで、架空名義や他人名義で預貯金をし、税を逃れて財産を保全しておくことができた。しかし、グリーンカード制が実施されれば、たとえどんな手段を講じようとも、すべて一目瞭然、税務署に知られてしまう。これでは、今まで蓄えていた財産が暴露されてしまう。そのために、匿名性が高く、購入、保有が無税で、絶対に税務署に見つからない金に投資を始めたというのである。

金地金以外の加工された金製品には、限度額以上のものに物品税はかかるが、金地金では、購入、売却の際に手数料がかかるだけで一切の税金はかからない。税務署に届け出る必要もないのである。

実際問題として、グリーンカード制対策として金を購入している人もいるのかもしれない。しかし、多くの人々は金がインフレに抵抗力を持っていることに目をつけて購入しているのであろ

う。

最近、東京都が調査した結果によると、都内のサラリーマンの実質賃金は、前年よりも一割も低下しているという結果が出た。また昭和五十六年一月から三月の消費者物価上昇率は六・六パーセントだということである。この上昇率は、二年、三年以上の定期預金の利息六・五パーセントをやや上回っている。ところが、政府ではなく銀行が実際の生活を基礎にして計算した結果では、消費者物価の上昇率は九・一パーセントになったという。

ともかくこのように近年の物価上昇は著しく、ベアがそれに追いつかず、実質賃金は目減りする一方である。加えて預貯金の金利は低い。益々、紙幣の値打ちは下がる一方なのである。さらに、世界と日本経済の不安要因が多く、経済混乱がいつ起こるかもしれない。そうした中で、人人が金を資産保全に選んだのだと言える。これらの理由によって、日本人に金選好が高まった。

金のメリットのひとつには、たとえどんなに長い年月を経ても価値は変わらず、目減りをしないということである。物価上昇にスライドして金の価格も上昇し、しかも、世界各地どこへ行っても変わらぬ価値で売買ができる。非常に信頼性は高い。

しかも、紙幣などは戦争やその他の経済的混乱が起こると、時にはまったく無価値の紙クズ同然となってしまうことがある。ところが、金はかえってそうした混乱の時にも価値は変わらないばかりでなく、かえって上昇することが多いのである。最も近い例に、昭和五十四年暮の、ソ連のアフガニスタン侵入、イラン・イラク戦争の時に金価格が上昇した事実がある。特にアフガニ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c